

長期に草勢を維持できる露地キュウリ栽培

技術の概要

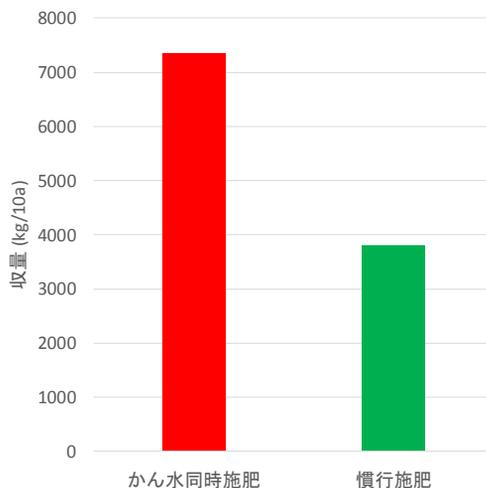
低コストで簡単に組み組めるキュウリのかん水同時施肥（養液土耕栽培）技術です。

1 草勢維持

- ・かん水同時施肥により土壤中の肥料濃度が適正に保たれます。
- ・その結果、根部の生育も優り、長期間にわたり草勢が維持されます。

2 収量向上

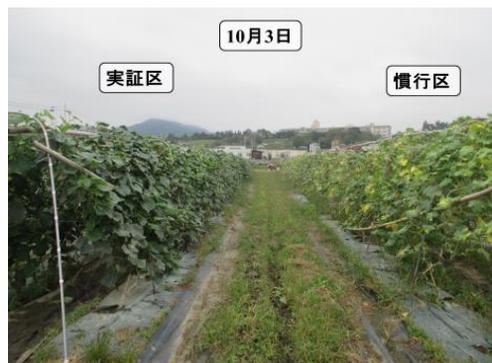
- ・草勢が維持できたことにより収穫が安定し、また、収穫期間が延長したことが増収につながります。



かん水同時施肥収量に及ぼす影響



かん水同時施肥装置



H28栽培実証圃場

期待される効果

- 草勢を長期にわたりを維持して9月以降の収量も確保できます。特に、土壌条件が劣悪な畑での増収が期待できます。
- かん水同時施肥装置は10万円程度で設置できますので比較的安価に導入できます。
- かん水同時施肥により、H28年の実証結果では大幅に増収し50万円程度の所得向上となっています。

【お問い合わせ先】

岩手県農業研究センター技術部野菜花き研究室 〒024-0003 北上市成田20-1 TEL0197-68-4420

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。